

ネットワークの中立性に関する 懇談会 第2回会合 資料

株式会社インターネットイニシアティブ
鈴木幸一



- インターネットの登場がネットワークを開放
 - ◆ インテリジェンスをユーザ側へ

- 様々な変化があらゆる場面で展開
 - ◆ 新たなサービスの登場
 - ◆ 多様なアプリケーションが登場
 - ◆ 組織から個人へ、モノやすべてへ
 - ◆ 光・無線での先端技術開発

- 本質的な変化は始まったばかり
 - ◆ ネット・サーフィン (1996)
 - ◆ ブロードバンド元年 (2001)
 - ◆ Web2.0 (2006)

- 中立性・公平性の問題は常に存在
 - ◆ 数%のユーザが多くのトラフィックを占める
 - ◆ 特定ネットワークでしか利用できないサービス

- 変化の途中では発生しうる事態
 - ◆ 変化し続けていることの証

- イレギュラーな事態を受け入れる必要
 - ◆ 予想し得ない事態はまだ起き続ける
 - ◆ 変化し続けるためのキャパシティ

- 変化を止めてしまいかねないことを避ける
 - ◆ 飲み込んで発展していく方向を模索する

- 物理的インフラの増強は今後も必須
 - ◆ 変化に対応できるインフラの整備を

- インフラ整備に対するインセンティブ
 - ◆ 重要な基幹インフラとして
 - ◆ 安定した環境の確保のために

- イノベーションを阻害しないコスト負担
 - ◆ 変化が起き続ける環境の持続
 - ◆ イノベーションとの対立ではなく協調

- 独立したコスト負担モデル
 - ◆ 広告・コンテンツ収入への非依存

- ネットワークのイノベーション
 - ◆ 変化の先取り
 - ◆ 国際貢献・競争力向上

- イノベーションの推進
 - ◆ 大容量・超高速ネットワーク
 - ◆ 新たなアプリケーション
 - ◆ ネットワーク・アーキテクチャ

- イノベーションによる変化
 - ◆ 垂直統合・水平統合
 - ◆ 中立性・公平性
 - ◆ 様々なものを変えていく

- 公衆電話機能の維持の仕組みが必要なことは理解
- NGNのみが将来のネットワークの全てではない
- Internetは引き続き新しい技術革新が期待される
- 両者が協調し発展することが望ましい
- 世界に通用する技術革新の開発を